

## 沖縄県ハンドボール協会 2023 スポーツインテグリティ研修会

研修会にご参加頂きありがとうございました。皆さんの「気づいたこと、感じたこと、考えたこと」を個人が特定できないように加工して一覧にしています。研修会内で「自分の価値観」を言葉にし、グループディスカッションで「他人の価値観」を知り、この振り返り Paper で同じ研修会を受けた仲間の「多様な価値観」を学ぶことに繋げてもらえればよいと思います。

### ● 気づいたこと、感じたこと、考えたことについて、教えてください。(抜粋)

- 1 保護者をどう参加させるか(きて欲しい方が来ないんです…)
- 2 保護者にして欲しいことを書きました。沢山出たことに少し驚いています。保護者にこんなにして欲しい事があったと同時に、今まで我慢していた、無理していたという事に気づけました。
- 3 保護者の想いだけでなく、相手の気持ち(想い)を理解して取り組むことは、スポーツだけでなく、人と関わることに於いて、とても大切だと改めて思いました。変えることができるものを柔軟に、臨機応変に変えつつ、いかにお互いにとって良い環境を作っていけるかを意識して取り組んでいきたいと思います。今日は貴重なお話、情報交換の場をいただき、ありがとうございました。
- 4 チームの方向性を部員と一緒に決めることが第1。そのうえで、学校の指導目標や指導者が選手に求めること、成長して欲しい理想の姿を踏まえて、「チームとしてこのように活動していきます」というガイドラインを4月始めに提示して、部の在り方の方向性を部員と保護者に周知したうえで活動を始めたいと思った。今回の研修で、保護者を含めたGOODなチームをどう作っていくか、それを考えるきっかけになって良かったです。
- 5 アスレティック・トライアングルをしっかりと築き、目標を共通させて活動することが私たちにとっても、保護者、生徒にとってもよいと感じた。
- 6 自分の行動を振り返ると、子どもとしかコミュニケーションをとっていないという事に気づきました。保護者と積極的にコミュニケーションをとっていきたいです。良いチームになるにはプレイヤー、指導者、保護者を調和させたチームづくりが必要になる。これからまた試行錯誤しながら今日学んだことを活かしてハンドボールをみんなが好きになるような指導ができるようになりたいです。
- 7 ガイドラインは入部する際の約束事として必ず必要だと思います。
- 8 研修は一回受けて終わりではなく、繰り返し受けることが大切だと改めて実感しました。
- 9 自分も子どもがいて、お世話になっている先生方がいます。指導者と保護者の両方の想いを理解しているつもりです。指導者としては、方針も理解してもらいながら、選手/指導者/保護者が、より幸福な状態になれることを目標にしています。

10 新年度の結成会で、保護者ガイドラインを作成しようと思った

11 2年間、ハンドボールの指導に携わってきたが、協力的な保護者が多く、周りに恵まれてきたと感じる一方で、ガイドラインを作成し、共有することは子どもたちがハンドボールを楽しむためにとても大事なことだと感じた。4月に部活動結成式があるので、そのときにガイドラインを導入したい。研修を開いてくださり、ありがとうございました。

12 保護者の行動にも必ず意図があるということを再確認することができた。トラブルを起こしている自覚がないという言葉は、これからも忘れずに心に留めておきたいと思った。表面的な部分で捉えるのではなく、自身の中で噛み砕きながら、隠された意図を読み取るべきだと感じた。

13 チームを任される指導者も、不安や孤独感の中、気を張って部活運営している。知らない事、自信のない事、うまくいっていない事などを適切に相談できる仕組みがあれば、第三者の目もあり、独りよがりの指導にならず、トラブル防止を目指せると思う。

14 保護者向けのガイドラインを設けて保護者の関わり方を考える上で、強制や負担にならずいい距離感でのバランスを検討しないといけないと感じました。子供たちだけでなく保護者、指導者も楽しくやりがいを持って関わっていただけるようにチーム作りを出来たらと思います。

15 「多様性」、「ハラスメント」などが先行する社会環境下、以下の複雑な要素(※)があり、学校毎／部活毎という観点を踏まえると、指導體制の限界を感じながら、これまで何度も柔軟かつ適切に対応する必要性を感じてきました。

(※)家庭内環境(母子家庭ほか)、親からの子供への干渉(親子関係)、保護者と指導者の関係(成人同士)、これまでの育児方針と(それに伴う)子の姿勢(個性／性格)、主張／批判する権利、部活動の場が文科省(教育庁)管理下にとどまらず、ハラスメントという主張を起点とした刑事訴追的な責任訴求も行いやすい環境、など。

そのため、外部指導の立場の私ができることとしては、異動が伴う部顧問(指導者側)が、技術指導を円滑に行えるよう、上記(※)への対応のフォローの必要性を感じ、カウンセリングスキル(国家資格取得)、コーチングスキル、マインドフルネススキルなどを学び、(技術的な指導も含め)アントラージュが円滑となるよう、仲介的な立場での関わりを意識的に率先して行ってきた。指導校のその他の部活やマスコミ報道での情報など、最初に述べた「多様性／ハラスメント」という権利(?)が急激に先行するなか、アントラージュ構築への人的な支援を要することなく、ガイドラインという契約書ではない成果物により「子供にとって有益な成長につなげられるよう」指導者／保護者に響く内容となってほしいと切に感じました。

16 私が Well being を実現するために、選手、保護者、ドクター、指導者が専門性を最大限に発揮しアントラージュが良好な関係になるようにしていく。その際、互いが過度に譲り合う又は任せ過ぎるという問題を防ぐために、定期的に保護者会(ハイブリット方式)を開催して、指導方針の見直しや共通理解を図れる場を設定していきたい。ディスカッションの中で、保護者の Bad な行為を挙げていったが、それが指導者の「やりづらい」という主観で決めることがないようにしていきたい。その行為を選手はどう思っているのかといったプレーヤーズセンタードの視点から考え、保護者と協力していきたい。つまり、主観ではなく客観的な視点で部活動を支えて行くために、顧問、副顧問、外部指導者、他の部活動の顧問などと連携・協力することを意識していきたい。

17 一括りに保護者といっても、研修にあった通り、保護者の学歴や競技経験歴で部活動に対する感じ方は様々であることに加え、指導者の年齢や指導歴、チームの規模、性別、カテゴリーによってさらに複雑化すると感じました。

- 18 保護者・指導者としてではなく、子供達に関わる大人は1人の保護者として、お互いが歩み寄る事で(わがままではなく)意見として聞く事も大切なんだと改めて感じました。
- 19 教員の方達と外部コーチとでは少し考え方の違いがあったりして違う視点から見た意見が聞けて勉強になりました。自身も保護者とグッドな関係を築いて生徒にとって有意義な部活動になるように協力していきたいと思いました。
- 20 今の時代、指導の中で体罰やハラスメントは絶対にあってはいけない。これまでも数々の研修で言われ続け、そこを念頭に置いて選手と関わってきているが、まだまだ解決できていない問題、あらたな事案が出てくる現状に他人事でないで常日頃痛感している。本日の研修で保護者の対応もチームを運営する上でとても重要だと感じた。体罰やハラスメントが問題になって保護者も指導者に対して敏感になっている現状なので、保護者とのコミュニケーションも選手同様欠かすことできないチーム運営の一つだと感じさせられた。
- 21 時代によって変化していく教育環境のもと、スポーツの指導も変化していく。その変化を受け入れ子供たちと接していかなきゃ、子供たちを守れない。私が最近思うのは、保護者によって支配された子供。自分がどうしたいのかを言えず、親の言われる通りに行動する。考える力が減っているように思える。自己肯定感を上げれば自信にもつながりプレーも良い方向へと繋がると思う。「子供が中心、自己決定を促す。子供の話を聞いて、共感すること」はとても大切と思いました。指導者、保護者が思う理想と子供が思う理想は違うかもしれない。そこを聞き出しながらその子にとって良い方向へと、導いていきたいと思いました。
- 22 保護者ガイドラインはとても大切だと思います。部活動の保護者のみならず、学校のすべての保護者に対する保護者ガイドライン作成の必要性を痛感しました。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- 23 生徒、保護者と Well-being のために、何が大事なのかを再度考えさせられました。生徒や保護者、関係者とコミュニケーションをとり、情報(考え)交換する事で、関係性を良くしていきたいと思います。
- 24 短い指導期間ではあるが保護者に助けられたことはあるが、保護者と問題が起きることがなかった。これからそういった問題に直面する可能性も考えるとガイドラインの策定は必要なのかと考えた。
- 25 今まで部活動を指導するにあたり保護者との関係性がなかったので積極的にコミュニケーションを、とってきたいと感じた。
- 26 自分の時代と現在は違うこと。気付かされる研修でした。現在の学校にはハンド部はなくて、〇〇〇〇〇をみえます。今年同好会からと考えてますが、さった新聞の内容は同僚のことでもあるので、自分から作って嫌な事になったらどうしようと不安が先にきます。また、今年は仕事で部活動担当になり、4月から部顧問決めや部活動結成式もあり、この内容を活かしたらいいなと思いながら聞いてました。この研修を通してハンドを通してたくさんの仲間を感じられる時間となりました。何かしら普及活動できたらと思っています。
- 27 保護者に理解や応援してもらうには、指導者の考え方や思いを伝え理解してもらう事が大切だと思った。また、指導者も保護者の思いがどういうものなのか、考えて指導することが大切だと思った。
- 28 現在、ガイドラインは作成してあるが、双方向を意識した内容などもう少し細やかに作るべきだと感じました。

29 子どものためと思ってやったこと(行動や言葉かけ)が、時には意図しない方向に行ってしまうこともある。「保護者にして欲しいこと、して欲しくないことは、結局はコーチ自身にも当てはまる」という視点を常に意識し、独りよがりなチーム経営にならないよう、意見交換をしながら定期的に振り返ることが大切だと感じた。

30 他のチームの話、困っている事や、やり方などが聞けてとても参考になった。グループワークみたいな感じでよかった。

31 チームに関わる全ての人のウェルビーイングを目指せるよう、自分が目標の指標になるように自分からどんどん積極的に働きかけていきたい。そのためにも早速次年度からガイドラインで生徒、保護者へ目指す部活像を伝え、共有したいと考えました。

32 ガイドラインを作った方が後々の揉め事を作らなくて済むなと思いました。

33 保護者をうまく巻き込むことが大事だと感じた。スポハラの調査結果、新聞で読みました。三輪先生が冒頭におっしゃっていましたが、ハンドボール界から命を絶つ子どもが絶対に出してはいけないと思いを新たにしました。

34 高圧的な指導やハラスメント的な指導がまだまだ無くなっていないと思う。インテグリティ研修を受けたからといって人の本質は変わらないのかと残念に思う。

35 私生活、学校、部活は繋がっているんだと、改めて実感しました。

36 部活指導は年々難しい状況にあり、部活動の主役である子どもたちだけでなく、サポートの役割を果たす保護者にも多くの働きかけをしなければならないということは、より指導者としてのスキルや人間性が問われると思う。

37 研修を受けることで、役割を再確認させられる。良い研修だと思う。協会が誰よりも熱い情熱を持って実施している。それに、力を貰い活力となって、良い連鎖が起きる。

38 自分の子ども以外の選手のことを悪くいう(批評家のような)保護者を一喝してしまったことがあります。本人は悪いこととっていなかったようで、反省していましたが、自分も大人げなかったと反省しています。指導者と保護者という立場をお互いに尊重しながら、選手の成長を中心とした活動を行いつつ、皆が成長し続けることが大事だと思います。今回の講習も昨年度同様、身近に感じている問題がテーマだったので、自分のチームへしっかりと還元できれば、と思います。

39 三位一体を目指して、指導やチーム作りに励んできたことがよかったんだと改めて感じました。(アスレティック・トライアングル)大人が子どもへの関わり方を意識して変えていくことが重要。自立支援のスタイルを目指していきたい。

40 現在の部活動システムだとアントラージュを充実させることが難しいこと。また顧問負担が増えてしまうのではないかと思います。

41 指導者としてどのように終えたいか??

42 保護者向けの講習会をしてほしい。

- 43 いつも部結成で話している内容を、ガイドラインを使って、選手、保護者、指導者の3方向から確認でき、年間を通してブレずに指導できると感じた。
- 44 様々な角度から研修内容を構成して頂き、一つ一つが自身やチームの全体組織としての在り方の振り返りができて、改めて必須な研修だと感じました。本当に有難うございました。
- 45 アントラージュが良好な関係になる為には、選手の自信みたいなものが必須なのかと感じています。自信がないと何も言えないし、何を聞いて良いのかもわからない。指導者として、選手に自信を持たせる指導をしないとイケないと思います。
- 46 保護者と協力的にやること、また、意見を交わし合う環境や雰囲気を作ることで、結果的に指導者の暴言などのインテグリティに関わるトラブルが減少するのではないかと感じた。
- 47 今日の研修では、ハツとする話が多く、自分を振り返る良い機会になりました。特に、“保護者が行いたいこと、避けたいこと”は同時に指導者が行い、避けるべきことであるという内容はこれからの指導においても意識したいと思いました。選手、保護者と相互理解を深め、well-being な状態を目指していきたいと感じました。
- 48 子ども、保護者、指導者が信頼関係を築き、三位一体となったチームは本当にいいチームだと思います。そんなチームを目指していけるようにがんばります。お忙しい中研修を開催してくださってありがとうございました。
- 49 保護者との関係を振り返る作業を通して、保護者が行いたいこととコーチが行いたいことが一致することが、よりよい活動に繋がるということに気づかされました。これまでの指導において保護者とは最低限の関わり(大会や練習試合での送迎)でいいと考えていました。その理由は、保護者の勝利至上主義的な考えに影響されたくないことや指導に関して批判されたくないことなど、ネガティブなことばかり考えていたからです。今日の研修を通して、双方向のコミュニケーションに努めることを意識し、今後の指導に活かしたいと思いました。
- 50 中学校では毎年部活結成会があり、保護者に何を伝えるか試行錯誤してきました。今日のようにみんなで考え、保護者にプレゼンできるのはとても良いと感じました。
- 51 各チーム保護者と指導者の上手な付き合い方は大切だと思います。各チーム状況を聞いて皆さん試行錯誤していると感じました。保護者向けガイドラインはとても良い案だと思います。
- 52 チームは違うが、抱えている問題だったり、感じていることは同じことが多いと感じました。保護者との関わりは良いチームをつくる上でとても大切だと思います。保護者の BAD な行動の裏にはどんな思いや考えがあるのかも考えながら、選手、保護者と共に良いチームづくりをしていきたいと感じました。
- 53 保護者のお考えを聞く機会が必要だと思いました。
- 54 遠征を終えて保護者との関わりに悩みがあったので、解決のヒントを得ることができました。ありがとうございました。
- 55 こういった研修はあまりないので勉強になるし、いい刺激にもなります。日々の活動にいかしていきたいです。

## ● 悉皆研修について、ご意見などがありましたら、お願いいたします。(抜粋)

- 1 経験の浅い、ハンド専門じゃない人からしたらアウェー感がありとてもやりづらいです。
- 2 開催周知の時期、方法については検討していただきたいです。LINE でしか情報が得られず、異動などもあるので、各学校は公文を流していただきたいです。
- 3 指導者の悩み、苦しみを選手、保護者に発信する機会も作って欲しい。新聞などの保護者や生徒のアンケートなどばかりが先行し、指導者は悪みたいな印象を受けます。ここまで言われて指導する価値があるのか？プライベートの時間を割いてやる価値があるのかと思います。
- 4 保護者に対しての話が多かったが、コーチングや注意点、指導の年間計画、年齢別、経験年数的指導計画、方法等についても教えてほしい。
- 5 今日は大変勉強になる研修を準備して頂き、ありがとうございました。現在、私自身は指導から離れていますが、周りの部活指導で苦勞している同僚にアドバイスできる内容でした。種目は違いますが、同僚として、学校の仲間として、スポーツを通して子どもたちを成長させることのできる教育者、指導者になりたいです。
- 6 素晴らしい研修でした。勉強になりました。
- 7 5月、2月開催がよい。
- 8 チームを支援する上で必要な情報が得られる研修はこれからも実施してほしい。
- 9 研修自体は満足。もう少し他の指導者の話を聞く時間があればなおよかった。
- 10 夏休みの比較的時間がある時に開催して欲しい。
- 11 今回の研修の経験と、今後出る本研修の報告書をもとに、保護者会とも考えていきたい。
- 12 時間が、短い。
- 13 指導者〇年目ということもあり、初めての参加でしたが会場や時間帯の選択できる幅が多く、予定を確保しやすかったのがとても良かったと思います。指導者として大切なことを学ぶ機会をくださり、ありがとうございました。
- 14 「ガイドライン」の定義や書き方のサンプルがあれば、ワークショップの初動が活発になったと思います。
- 15 とても気付かされる研修だと思います。事前にもう少し具体的なテーマがわかれば、もう少しリベートで伝えることができるのかなと思います。
- 16 今回の研修については、スライドが暗くて見えませんでした。。。手元に資料があり大変助かりました。

17 本日はご多用の中ありがとうございました。今回のような研究を定期的に開催していただくことで、学び続ける機会の確保にも繋がりますし、全ての人にとってよりよいハンドボール環境が創造されていくと学びました。将来的には、他のカテゴリーや、ハンドボールと他の競技がコラボレーションした研修が開かれることで、新たな視点でスポーツについて考えることができると感じました。

18 オンライン、オンデマンド研修も選択できるのであれば助かりますが、実際にはインテグリティ研修の熱量が伝わらないので難しいところだと考えます。

19 怒鳴る指導者・保護者が1番受けるべき。

20 本日もとても良い研修会でした。いろいろな指導者とさまざまな問題や情報を共有できることや日頃指導のなかで感じている不安や悩みを話せる機会があつてとても勉強になりました。これだけ良い研修会なので一つ要望があるとすれば、開催時期を検討して頂けないですか？年度末の業務で多忙の時期、移動の準備片付け、チームの状況等で比較的余裕がないです。今後もこのような機会を通して多くの指導者と関わりをもって研修に参加をして自身の指導力向上に繋がりたいと考えますので、是非ご検討の程宜しくお願いします。

21 学びを止めたくないのととてもありがたいです。学ぶことはもちろん、ハンドボール関係者とお話できる機会でもあり、とてもありがたく思います。

22 「研修は重ねる事」という、三輪先生の言葉。改めて、その通りだと感じました。

23 こういう研修は必要だと思います。

24 今回は保護者への対応に関しての内容でとても参考になりました。今後の指導に活かしたいと思います。

25 大変有効な研修だと思います。

26 早めに日程調整できればよかった

27 小中高の全世代指導員合同研修なので普段交流出来ない方々の意見や視点に触れる事が出来て大変有意義な研修でした。

28 研修ありがとうございます。時間もいいと思いますました。何回もやって頂いて頭が下がります。

29 内容的には大変有効でした。もう少し時間があれば尚良かった。

30 お疲れ様でした。2年目の研修でしたが、この研修で今までの指導方法を考えさせられる機会になってます。

31 定期的を開催してほしい。

32 テーマや研修内容を早めに提示してくれると意識も高まると思います。

- 33 質疑応答の時間が欲しかったです。
- 34 大切な研修だと思う。今回のように、普段はなかなか交流する機会がない校種(小学校や中学校)の意見や実態が聞けたのが新鮮だった。
- 35 去年の研修も良かったが、今年の悉皆研修はさらに内容が良かった。
- 36 研修時期をずらして欲しい。年度末は忙しいです。
- 37 急な開催案内で、スケジュール調整が厳しかったが、受講し、同じ思いの方々と情報や思いを共有し、充電出来ました。感謝致します。
- 38 指導者は、学び続けることが必要だと思います。県協会としては、大変だと思いますが、今後も、続けてほしいと思います。
- 39 ハンドボールの指導者の中にも悉皆という文言にかなりの抵抗感を持たれてある方がいるようです。私としては多くの方に研修に参加していただきたいのですが、何か良い案はないでしょうか悩みます。
- 40 横文字が多い。
- 41 当たり前の事を当たり前に確認、理解することができるので、参加できて良かった。事件、事故を起こさない姿勢を感じることができた。
- 42 アナウンスを早めに行うべき。
- 43 審判をしている際、まだ審判・選手に対して暴言を発する指導者がいます。その方々こそ研修が必要だと思いますが…。
- 44 年に一回の振り返りになる。とてもよい。
- 45 オンライン研修制の導入はいかがでしょうか。
- 46 開催期間を夏休みにしてほしい。
- 47 時期がいろいろあればありがたいです。
- 48 日程をもっと早めに確定し、周知して欲しいです。
- 49 昨年度とは異なった内容だったため、今回の研修も有意義な研修になりました。
- 50 沢山の学びがあり、とても良かったです。面白い研修でした！

51 毎回、とても勉強になる研修でありたいです。もう少し早く周知してくれると、日程調整しやすいです。

52 免許証みたいに違対象の人とそれ以外の人で時間が違うのもいいかと思います。

53 昨年に引き続き研修に参加させていただきましたが、ディスカッションするメンバーや所属カテゴリーが変わるだけで多様な意見が聴けて参考になりました。改めて、チーム責任者と情報をシェアし、今後のチーム運営に繋げていきたい。

54 とても学びの多い研修でした。また、継続的に研修を行うことで、これから指導者となる後輩たちにも、沖縄の良い伝統としてプレーヤーズセンターが根付くよう心掛けたいと思います。

55 保護者との関わりという普段考えたことのないテーマで新鮮であった。私は外部コーチという立場なので、実際には顧問の先生と連携して実践していきたいです

56 全員で考える問題なので、協力していきたい。他方、指導方法に課題がある指導者へ、協会として個別にどのようにアプローチしているかを気にする意見もあるので、その辺りが明確になると、より協力が得られるかと感じました。

57 研修会の中で、ディスカッションの時間設定を可視化してくれると、もっと話しやすかったです。

58 毎年、研修を受けることでこれまでの指導を振り返る機会になっていいと思います。研修案内がもう少し早いと予定を立てやすいと思いますので、次年度はぜひ研修開催の案内を早めをお願いします。

59 今日の資料のまとめ等、パワーポイントと紙媒体で配布できる資料にまとめると、仕事が忙しい先生方やハンド専門外の方も助かると思います。(その分取りまとめ担当が忙しくなるので心苦しいのですが、ぜひ検討よろしくお願ひします。)

60 昨年度も今年度も、大変勉強になりました。

## ● 県協会に開催してほしい講習回答のテーマ

1 指導者の悩み、苦しみを指導者同士で共有する研修

2 練習メニュー講習

3 部活動の地域移行が進んでいるので、地域自治体とのつながりや実際の成功例等に関する研修(情報)に関心があります。

4 講習会ではないですが、協会の目標や年間の取り組みを周知できる機会を設けて頂けたら助かります。ハンドボールを知らない方にも興味を持って貰う機会になるかもしれません。

5 技術力向上。

- 6 自信のなさそうな生徒について、必要な限り親と関わってます。毒親の要素、有無確認のため。毒親対策専門家の意見聞きたいです。
- 7 チームを組み立てていく上で、基盤となる考え方や方針を大まかに教えていただけると嬉しいです。
- 8 これまで指導者や保護者と関わってきたなかでの“個人的な意見(経験則)”ですが、咎めの『なぜ』をテーマに指導者／保護者に講習会して考えてもらうだけでも、スポーツ(ハンドボール含む)／子育てなど、日常生活から過干渉、人格否定、行き過ぎた指導などへの意識(気づき)が変わると思います。
- 9 栄養摂取方法、戦術理解・戦術指導
- 10 栄養学、怪我防止等に関わる研修
- 11 保護者に対しての講習会
- 12 他コーチとの連携について
- 13 投げ方を指導する方法
- 14 定期的に指導者研修を開催してほしい
- 15 部活動地域完全移行に関するシステムや実現可能か、など。
- 16 栄養学や怪我予防等についての講習会があっても良いかなと思います。
- 17 カテゴリー別の練習法や考え方を開催してほしいです。地域移行といわれていますが、全体的、具体的にこれと言っていないので、カテゴリー別で指導者に講習会があれば今日の講習会の内容の一つとして良い関係に繋がると思います。自分に自信がないということもあります。
- 18 ハンドボール人口を増やす為には。
- 19 保護者対象の講習会、講演会など
- 20 子供達、保護者、指導者の子供達を見守り成長できる事を考える機会であればなんでも。
- 21 アンガーマネジメント。”怒りの連鎖を断ち切ろう、
- 22 GK 指導
- 23 外部講師による講演会
- 24 中学部活動の地域移行について

- 25 チーム運営上のトラブル対処法の共有や法的な視点ではどうなるのか。
- 26 県外で活躍している沖縄県出身の指導者(例えば、北國銀行監督の荷川取さん等)に指導者として大事なことなどを自身の経験から講演レクチャーしてもらう。
- 27 保健の視点から女子選手の体調や月経時に気をつける事など、女子選手に対する対応について学べる研修があると嬉しいです。
- 28 A クラス、B クラス、C クラスなど、レベルに応じたトレーニングメニューや情報共有を行うと、練習試合の申し込みを行える場もあれば、非常に助かる。
- 29 審判講習の定期開催
- 30 保護者と指導者の合同研修制も設けていただきたい
- 31 チームの作り上げ方
- 32 戦術講義、ポジション別研修
- 33 審判に対する、暴言。過度な質問等。他のスポーツみても、ハンドボールはひどい。
- 34 パワハラをなくすためには？事例紹介も含めて。
- 35 コーチングの要素を含んだ内容なども教えて頂ければ嬉しいです。
- 36 練習内容、選手起用、戦術との講習会があっても面白いと思う。
- 37 基礎基本技術や戦術等、今のトレンドの指導法
- 38 指導者の指導法の講習会
- 39 指導方法の共有(専門外の先生が年間を通して指導するための資料など)。また、トップチームが行っている練習メニューや指導者講習会の資料共有など、県内競技力の底上げについて。
- 40 保護者向け審判講習
- 41 オリンピック金メダルをとるための練習方法
- 42 スポーツペアレンティングについて保護者向けの講習会があってもいいかなとおもいました。
- 43 指導者資格の取り方など

## ● 県協会への要望について

- 1 私は、前述のとおり経験的に必要性を感じ、スキルを学んで指導者フォローを行ってきましたが、他校の指導者が、深刻に苦慮／悩んでいる声を聴いたこともあります。究極には人間関係(接し方含む)の観点であるため、軽率には関与できません。そのような悩める部顧問(専門外含む)や技術指導者から、気軽に県協会に気軽に相談できる仕組み(体制)が整備できないでしょうか？プロ(コーチング、カウンセリング、大学教授など)につなげてあげる(リファー)だけでも心の支えになると思いますし、そのような体制整備の説明会や講習会などが、今の日本人向けの指導環境には実効性があると思います。専門外の部顧問含め、精神的／体力的リスクを伴う部顧問はますます減っていくことを懸念しております。
- 2 先日一般大会の代表者会議の前に競技規則に関する講習がありました。そのような研修が定期的に行われることで、選手と審判がより良い関係でハンドボールを盛り上げることができると感じました。
- 3 もっとオープンな県協会であって欲しい。身内に優しく・他人に厳しくになってませんか。
- 4 沖縄の競技レベル向上に力を入れて欲しい。
- 5 現場で何がおきているのか、現場の声も拾って頂き、まずはハンド関係者が良い関係をハンドに出会った子どもや保護者に示せるようにと思います。お疲れ様でした。
- 6 毎年1回のスポーツインテグリティ研修の開催を要望します。
- 7 沖縄選抜の練習の中で、子どもに対して不適切な言葉(死なすぞ、馬鹿か…など)を発して指導している方が居ると、保護者の方、子ども達から聞こえてきました。選抜の指導を行う方は、より気をつけていただきたいです。
- 8 年間の日程(大会等)を出来るだけ早くHPにアップしていただけると非常に助かります。
- 9 今回の研修の取りまとめた指針を早めに確認してみたい。
- 10 現会長になり、一般の大会運営の改善やインテグリティの悉皆研修等で、沖縄県のハンドボールが活性化されているように感じます。ありがとうございます。ハンドボールがさらに魅力あるものになることを期待しています。
- 11 しっかりとしたデータを入手できないので、私の肌感覚になりますが、現状では、指導者が標的になり攻撃される事が増えていませんか？指導者を保護するような取り組みを作れたら良いなと思います。
- 12 チーム内での体罰やハラスメント等のトラブルに、相談窓口を作ってみてはどうか。どうしても内々で処理しようとするし、当事者は誰に相談していいかわからないと思うので。
- 13 各カテゴリーの目指すべきプレーヤー像ややるべき指導内容などがあると、保護者への説明もスムーズになるかと思いました。
- 14 若手が表に出るように、出て来れるような環境育成サポートして欲しい。

- 15 インテグリティ研修は非常に良いと思いますが、現場ではまだまだ響いてないのかなと感じる場面もあります。県協会の思いをしっかりと行動に移すような取り組みが各カテゴリーで行う必要があると思います。
- 16 若手指導者の育成に頑張ってください。
- 17 会長、理事長、講師の方々、バックヤードのみなさん、研修ありがとうございました。今回の内容、ハンドボール協会としての想いを受け止め、子どもたちの未来のために活かしていく所存です。
- 18 上級審判を練習に派遣してほしい。
- 19 いつもありがとうございます。逆に何かあれば協力しますので、いつでも連絡ください。
- 20 小学生の運営費の使い方を公表するように指導願いたい。
- 21 年度末の週末は見直してほしいです。
- 22 今後もこのような研修を続けていただきたいと思います。